

※ 下の歌「早課第九歌頌イルモス」を歌える場合は聖変化後の「常に福にして」に替えて歌う。

A musical score for a hymn in Japanese. The score consists of ten staves of music in G clef, common time, and a key signature of one flat. The lyrics are written below each staff in Japanese characters. The lyrics are:

わがたましいやてんぐんよ
我靈天軍
りとうときど童うていちよ
尊尊貞女
し至じようなるしょうしんぢよ
至淨うな生しょうしんぢよ
崇讃めよ
しょうしんぢよやなんちのくらいにかないてよく
生神女爾位適能
なんちをさんびするのしたなし
爾讃美舌
てんじょううのちえもいかになんちをかしょうする
天上智慧如何爾歌誦
をしらずただなんちじんじのものとして
知唯爾仁慈者
われらのしんをうけたまえわれらのねつ
我等信受給熱
せつななるあいをしればなりけだし
切愛知
なんちはハヌステアニンラのてんたつなり
爾等等の転達



※【神現祭領聖詞 ティト書2:11-14、3:4-7】

かみのお恩 んちょうう、しゅうじんにすくい
神 龍 衆 人 救
を ほどこすものはあらわれた り。
施 現

句) 神の恩寵、衆人に救を施す者は現れて、我等に、不敬虔と世俗の慾とを離

れて、自ら制し、義と敬虔とを以て今の世に生を度り、

句) 望む所の福、及び大なる神、我等の救主イイススハリストスの光榮の現を待つことを教う。

句) 彼は我等の爲に己を與えたり、我等を凡の不法より贖いて、己の爲に選ばれたる民、善行に熱心なる者を潔めん爲なり。

句) 然れども我等の救主神の恩寵と仁愛との顯れし時、

句) 彼は我等が行いし所の義の功に由るに非ず、乃己の慈憐に由りて、重生の洗、及び聖神の復新を以て、我等を救えり。

句) 聖神は、即ち神之をイイススハリストス我等の救主に由りて、豊に我等に注げり、我等が彼の恩寵を以て義とせられて、望に循いて、永遠の生命の嗣と爲らんため爲なり。